社協の広報紙

あおぞら

行方市 社協だより

No.61 2021.6.1

ー 発行者 ー
社会福祉法人
行方市社会福祉協議会
住所 茨城県行方市玉造甲478番地1
☎ 0299(36)2020
FAX 0299(55)4545
URL http://www.yokattanet.jp

活動紹介

ボランティアグループ「ひまわりの会」
～いつまでも安心して楽しい生活を送れるためのお手伝いをします～

麻生地区において、主に独居高齢者宅の草刈りなど、ニーズに応じた生活支援を行っています。
＊コメント＊
「いずれ自分たちも世話になるかもしれないので、
今、自分たちができるうちに人の助けになりたい。」

もくじ

○会長あいさつ…… 2
○いきいき長寿者紹介…… 3
○令和３年度社協事業計画…… 4
○令和３年度社協の予算…… 5
○令和２年度社協会費報告…… 6
○お知らせ…… 7
○給食サービス事業について…… 8
善意銀行・編集後記

会長あいさつ

社会福祉法人行方市社会福祉協議会
会長　鈴木　周也

市民の皆さまには、日頃より、社会福祉協議会の活動に対しまして、格別なるご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

また、改めまして、市民の命と健康を守るため、日々医療の最前線で奮闘されている医療従事者の方々をはじめ、新型コロナウイルス感染症の感染防止にご尽力いただいているすべての皆さまに対して、心から敬意と感謝の意を表します。

さて、昨年度は、新型コロナウイルス感染症が日本を含む世界各地でまん延したことにより、日本国内で初めてとなる「緊急事態宣言」が発出されたほか、各種行事、スポーツ大会、イベントなどが中止又は延期、規模を縮小しての開催になるなど、誰も予想し得なかった1年となりました。当協議会におきましても、感染防止に配慮し、一部縮小をしながら事業やサービスに取り組んでまいりました。

特に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、日常生活や社会経済活動に大きな影響が及んだことから、生活資金が必要な方へ「生活福祉資金制度」の緊急小口資金および総合支援資金の貸し付けを行いました。今年度も6月末日まで受付期間を延長し、現在、支援を継続している状況です。

新型コロナウイルス感染症は、今もなお感染拡大が続いており、依然として収束の兆しが見えない状況にありますが、当協議会といたしましては、コロナ禍が私たちの暮らしに与える影響等の現状を把握し、整理するとともに、当協議会が行う個別の生活支援に力点を置きながら、見守りや訪問、住民相互の交流活動等を推進し、新たな小地域ネットワーク活動を展開してまいりたいと考えています。

また、今年度は「行方市第2期地域福祉計画・地域福祉活動計画」の最終年度となります。そのため、成果に磨きをかけるとともに、これまでの事業効果等の検証・評価をしっかり行い、次期計画の策定につなげてまいります。

今度も、市民一人一人が、住み慣れた地域で生きがいを実感し、誇りと愛着を持って「住み続けたい」と心から思えるまちの実現のためには、住民参画が不可欠であります。

これからも私ども社会福祉協議会は、地域福祉の推進の中核的な存在として皆さまに寄り添い、地域、行政、関係機関と連携しながら事業に取り組んでまいりますので、一層のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

いきいき長寿者紹介

門井　忠栄　さん　91歳（行方市石神）

昭和5年生まれ今年で満91歳、行方市石神の地に9人兄弟の長男として生まれました。

さつまいも農家を営んでいたので、幼少期のころから家の手伝いをしていました。結婚をしてからも、奥様と二人で娘二人を育てながら、さつまいも、田んぼと仕事に励みました。

最愛の奥様には70代の時に先立たれ、現在は、長女夫婦と過ごしています。

これからも現役

地元の老人クラブに入り、会長を長年にわたって努め、それが、きっかけでグラウンドゴルフを始めて15年、現在も週2回プレーしています。今まで頑張ってきたのだから、今のまま元気で楽しみたい。運動を通じ人と接することは楽しいと話してくれました。

毎日の日課・・・ドライブ

家の仕事は、娘夫婦が頑張っているので自分は好きなことが出来ると。毎日テレビばかり見ていてもつまらないので、電気マッサージに通い、市外のスーパーで昼を食べて帰ってくる。もともと若い頃から運転が好きで、昔は友達と東北一周をしたりねぶた祭りを見に行ったり、いろいろな所に行かれたそうです。

人と話をすることが楽しいし楽しみでもあると話してくれた門井さんです。

年を取って外出をするのが面倒になり、家の中に引きこもるのではなく、自分の体と相談をしながら外に出て人と接し話をすることにより、人は笑顔になり生きる源にもなるのだと思いました。

心掛けていること

家族円満に助け合いながら暮らすことが一番である。

孫（当時37歳）を亡くしてから特にそう思う。それぞれの立場で悲しい思いをしたのは忘れない。

最後にこれからの目標を聞いてみると、「100歳まで頑張る！楽しみ生きる」と話してくれました。これからも、体に気を付けてご家族仲良くお過ごしください。

紙面でご紹介させていただける長寿者の方を募集しています。自薦、他薦は問いません。
ご連絡をお待ちしています。　☎0299（36）2020　総務企画係

令和３年度行方市社会福祉協議会事業計画

誰もが安心して暮らすことのできる地域づくりの実現に向けて住民の皆様や、行政、関係機関と連携して地域福祉の推進に取り組んで参ります。

地域福祉事業

○地域福祉事業の推進
・給食サービス事業
・介護予防事業
(1)元気で～さ～びす館
(2)地域介護予防事業への支援
・コミュニティ活動の積極的支援
(1)生活支援体制整備事業
(2)サロン活動立ち上げ支援
(3)備品貸出事業
○障害者（児）福祉事業
・ビックリ・発見・夏キャンプ
・のびのびサポート事業
・視覚障害者用録音物配布事業
・障害者スポーツ大会参加者支援
・親子ふれあい事業
○母子・父子福祉事業
・ひとり親家庭事業
(1)新入学祝品贈呈
○子育て支援事業
・子育てサポート事業
・養育支援訪問事業
○ボランティア活動の推進
・ボランティアセンターの運営強化
・ボランティア講座の実施
・ボランティアグループの育成・援助
・福祉教育の推進
○共同募金運動
○歳末たすけあい運動
○福祉関係団体の支援

相談支援事業

○法律相談事業
○日常生活自立支援事業

資金貸付事業

○生活福祉資金貸付事業

在宅生活支援事業

○福祉機器（車いす等）貸出事業
○福祉車輌貸出事業
○訪問歯科治療器具貸出事業
○在宅言語リハビリアドバイス事業
○在宅福祉サービスセンター運営事業
○軽度生活援助事業

広報啓発事業

○広報誌「あおぞら」の発行
○ホームページの管理運営
○ＳＮＳ等の活用
○なめがたエリアテレビ等の活用

介護保険事業

○居宅介護支援事業
○訪問介護事業
○地域包括支援センター

障害者総合支援事業

○居宅介護
○重度訪問介護
○同行援護
○行動援護
○計画相談支援
○就労継続支援Ｂ型

地域生活支援事業

○移動支援事業
○地域活動支援センター

その他社会福祉関連事業

○デマンド型コミュニティバス（乗合タクシー）事業
○福祉バスの管理運営事業

当事者団体支援事業

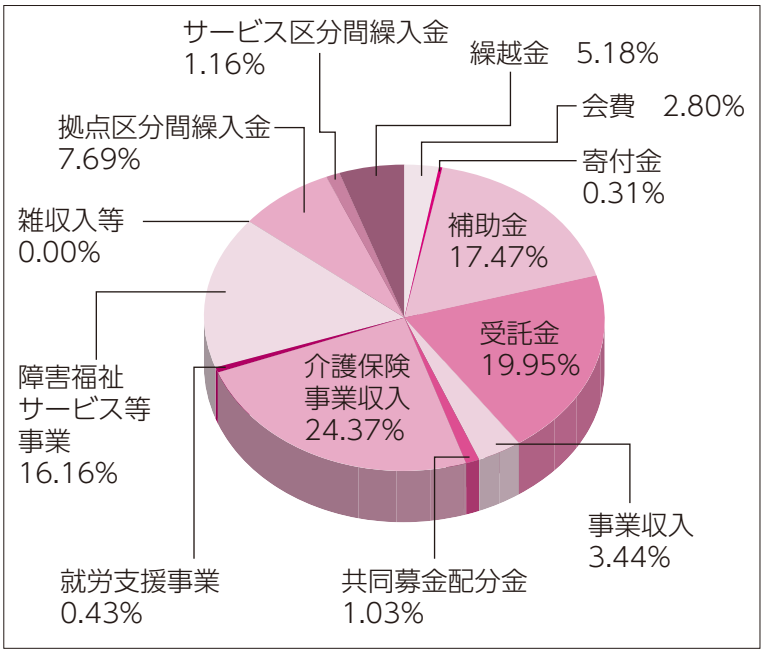
○行方市ボランティア連絡協議会
○行方市老人クラブ連合会
○行方市身体障害者福祉協議会
○行方市遺族会

令和３年度　社会福祉法人　行方市社会福祉協議会予算

令和３年度予算は３月の理事会・評議員会で議決され決定しました。住民の皆様からの会費や寄付金、ホームヘルプサービスによる介護報酬、ドリームハウスによる訓練等収入のほかに市からの補助金・受託金や共同募金等を財源としており様々な福祉事業に活用されます。

予算総額　333,767,000円

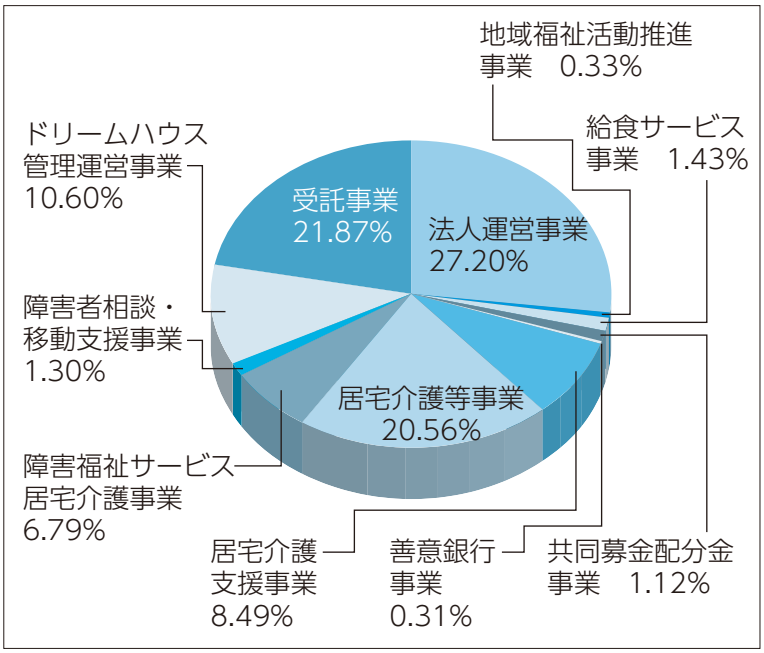
収 入



（単位：千円）

会費	9,360
寄付金	1,041
補助金	58,298
受託金	66,585
事業収入	11,492
共同募金配分金	3,445
介護保険事業	81,336
就労支援事業	1,420
障害福祉サービス等事業	53,953
雑収入等	13
拠点区分間繰入金	25,681
サービス区分間繰入金	3,856
繰越金	17,287
合計	333,767

支 出



（単位：千円）

法人運営事業	90,784
地域福祉活動推進事業	1,088
給食サービス事業	4,766
共同募金配分金事業	3,738
善意銀行事業	1,042
居宅介護支援事業	28,329
居宅介護等事業	68,632
障害福祉サービス居宅介護事業	22,658
障害者相談・移動支援事業	4,338
ドリームハウス管理運営事業	35,385
受託事業	73,007
合計	333,767

令和２年度行方市社会福祉協議会会員加入 ありがとうございました

社会福祉協議会の会員募集を実施させていただき、多くの方に会員としてご加入をいただきました。

皆様から寄せられました会費は、給食サービス事業やボランティア活動の推進、在宅生活支援事業など、地域福祉を推進していくための財源として活用させていただきます。

会員としてご加入いただいた皆様に改めてお礼申し上げます。

○令和２年度 社会福祉協議会会費実績

一　般　会　費	7,873 件	7,873,000 円
賛　助　会　費	19 件	57,000 円
特　別　会　費	86 件	870,000 円
合　　計	7,978 件	8,800,000 円

○令和２年度 特別会員としてご協力いただいた皆様

（敬称略）

事業所名	□数
土子コンクリート工業株式会社	2□
朝倉診療所	1□
麻生印刷	1□
特別養護老人ホームあそうの郷	1□
株式会社井川食品	1□
有限会社石田モータース	1□
株式会社イノバ工業	1□
有限会社インテリアコバヤシ	1□
株式会社Ａ－１建築事務所	1□
有限会社オーエムメディア	1□
株式会社大盛電機商会	1□
株式会社オニワ	1□
小沼商事株式会社	1□
小野村工業株式会社	1□
有限会社貝塚運輸	1□
有限会社風間タクシー	1□
介護老人保健施設　かすみがうら	1□
霞観光株式会社	1□
金塚医院	1□
カネカ関東スチロール株式会社	1□
特別養護老人ホームきたうら	1□
北浦交通有限会社	1□
吉藤運送株式会社	1□
特別養護老人ホーム　玉寿荘	1□
株式会社久米工務店	1□
株式会社倉川製作所	1□
株式会社久力製作所	1□
株式会社クワジマ	1□
有限会社小林自動車	1□

事業所名	□数
齋藤建設株式会社	1□
有限会社斉藤商事	1□
株式会社竿台石油	1□
株式会社サポート	1□
佐原信用金庫麻生支店	1□
株式会社山勝建設	1□
株式会社常陽銀行麻生支店	1□
株式会社常陽銀行玉造支店	1□
有限会社白帆観光ハイヤー	1□
株式会社末広商店	1□
須田石油	1□
勢司商会	1□
清宮電気株式会社	1□
株式会社ダイコウ測量設計	1□
株式会社タカサキ	1□
高須自動車工業	1□
株式会社髙塚製作所	1□
有限会社高野電子工業	1□
高橋建設株式会社	1□
有限会社田中電気工事	1□
千ヶ崎歯科医院	1□
塚本建設株式会社	1□
株式会社筑波銀行麻生支店	1□
土浦協同病院　なめがた地域医療センター	1□
株式会社中村工務店	1□
有限会社なめがたサービス	1□
なめがたしおさい農業協同組合	1□
行方市損害保険専業代理店組合	1□
株式会社根崎工務店	1□

事業所名	□数
有限会社根本商店	1□
有限会社根本保険事務所	1□
ハートラインヤマグチ	1□
有限会社華のれん	1□
株式会社羽生工務店	1□
Ｋマート　はまだ	1□
ピー・エス・コンクリート株式会社茨城工場	1□
有限会社　東関東サービス	1□
有限会社平山商事	1□
平山設備工業株式会社	1□
藤﨑建設工業株式会社	1□
有限会社フジ電気設備	1□
株式会社フルウチ	1□
有限会社　保険ソリューション	1□
堀田自動車サービス工場	1□
ボディーショップ　Ｇ－ flag	1□
株式会社松本	1□
マツヤ	1□
マルハ交通株式会社	1□
有限会社溝口工業	1□
水戸信用金庫玉造支店	1□
株式会社ミノワ	1□
箕輪リース株式会社	1□
株式会社宮内土建	1□
株式会社ヤマニ	1□
有限会社吉﨑モータース	1□
介護老人保健施設　リヒトハウス北浦	1□
株式会社鹿行畜産	1□

＊のびのびサポートのご案内

夏休みの思い出作り

参加者募集

内　容　夏休み期間中、対象者のストレス軽減と保護者の育児の軽減を目的に、日中お預かりをして日替わりの体験などを行います。

日　時　①７月２９日（木）　②７月３０日（金）
③８月　６日（金）　④８月１１日（水）
⑤８月１６日（月）　⑥８月１７日（火）
⑦８月２０日（金）　⑧８月２５日（水）
⑨８月２７日（金）　⑩８月３０日（月）
午前９時から午後４時まで

対 象 者　市内在住の特別支援学校に通う児童、生徒
市内の特別支援学級を利用する児童、生徒

定　員　１日につき１０名定員　※お申込みは先着順にて受付させていただきます。

場　所　行方市地域包括支援センター（旧行方市玉造保健センター）
〒 311-3512 行方市玉造甲 478-1

参 加 費　１日につき１，０００円

申込方法　６月１８日までに下記お問い合わせ先までご連絡ください。

※新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、日程変更もしくは中止となる場合があります。

＊ビックリ・発見・夏キャンプ　参加者募集＊
～楽しいひと時を過ごしましょう～

内　容　日帰りの協同生活、レクリエーションなどを行います。

日　時　以下の日程で分散開催をいたします。ご希望の日程日をお選びください。
日程 1:8 月 4 日(水)午後 2 時 00 分から午後 3 時 00 分(参加者 10 名程度)
日程 2:8 月 5 日(木)午後 2 時 00 分から午後 3 時 00 分(参加者 10 名程度)
※申し込み状況によりご希望に添えない場合がございます。

対 象 者　市内在住の特別支援学校及び特別支援学級に通う児童・生徒
市内在住の障害児（者）

場　所　行方市地域包括支援センター
(旧行方市玉造保健センター)
〒 311-3512 行方市玉造甲 478 番地 1

参 加 費　無料

申込方法　６月 18 日までに下記お問合せ先まで
ご連絡ください。

※新型コロナウイルス感染症対策の為、本年度は開催方法を宿泊から日帰りに変更し、人の密集を避けるために人数を分散しての開催となります。

令和元年度の様子

この紙面についてのお問合せ　０２９９（３６）２０２０　地域福祉係まで

行方市善意銀行

令和3年2月1日から令和3年4月30日までに善意をおよせいただいた方々をご紹介いたします。皆様からの善意は行方市のさまざまな福祉活動に使わせていただいております。

皆様からの温かいご寄付に心より感謝申し上げます。

皆様からの寄付金・預託金（順不同・敬称略）

寄付金

預　託　者　名	金額（円）	指定先
内田次男	20,000	無指定
匿　　名	10,000	生活困窮世帯
石神勝徳	20,000	無指定
匿　　名	10,000	無指定
山崎武士	20,000	無指定

物品寄付

預　託　者　名	預託品	指定先
石神区会	米2俵 さつまいも	ドリームハウス給食サービス事業
（株）末広商店	タオル200枚	無指定
匿　　名	紙オムツ　4袋	無指定
匿　　名	米15キロ	無指定

セブン-イレブン・ジャパン様から食料品や日用品の寄贈を受けました。

令和3年4月2日、(株)セブン-イレブン・ジャパン様より茨城県社会福祉協議会を通じて食品や日用品などの寄贈を受けました。寄贈いただいたものは、市内の福祉団体等に配布させていただきました。

広報委員

委員長	熊谷　一男	**委　員**	代々城千尋
副委員長	理崎　道子		髙柳　利子
委　員	金井　裕子		大原　　孝
	菅谷　京子		横田　照実
	磯山　正子		稲川　　勝

給食サービス事業 利用者・ボランティア募集

在宅の高齢者等が健康で自立した生活ができ、安否の確認、健康と福祉の増進を図ることを目的として、麻生・玉造・北浦の各地区において、月に3回お弁当の配食事業を行っています。

☆利用者募集☆

対象者：1．65歳以上のひとり暮らしの高齢者又は高齢者のみの世帯
　　2．身体障害者、知的障害者及び精神障害者の方で単身又は障害者のみの世帯

料　金：1食150円

☆ボランティア募集☆

いつでも・どこでも・だれでも！あなたのご協力をお待ちしています！

	調理ボランティア	配達ボランティア
内容	調理・弁当パック詰め・片付け	弁当の配達・見守り（自家用車で対応いただきます）
回数	月1～2回程度（当番制の為地区により異なります）	月3回程度
時間	9：00～11：00位まで	10：30～12：00位まで
会場	麻生地区：麻生公民館 玉造地区： 行方市地域包括支援センター 北浦地区： 行方市保健センター	調理と同じ
その他	エプロン・三角巾支給	燃料費支給（1回600円） 各地区1回につき2～10件の配達

申込・お問合せ　0299（36）2020

編集後記

コロナ禍の善意と闇

善意は思いやり、優しさ、闇はヘイトへと続いています。

闇を光へと導くのは私達一人一人の愛です。

身近な人も、遠くに暮らす友も互いに心寄せ合って、この闇を乗り越えていきましょう。社会生活に距離は取りますが、心に距離はありません。明けない夜がないように、止まない雨もありません。肩をたたき合える明日を信じて、今日も確かな一歩を前へ、そしてその前へ力強く。

磯山　正子

視覚障害など目の不自由な方へ朗読ボランティアの方が朗読した「社協広報誌　あおぞら」や「市報　なめがた」をお届けしています。

希望される方は行方市社会福祉協議会へお申込みください。